



◇ 今回は、加藤みづきさん。神戸大経済学部で学び、来春から電力会社に就職です！！

◎はじめに

こんにちは。関高校を平成26年に卒業しました、加藤みづきです。現在神戸大学経済学部にて在籍しており、来年からは内定をいただいた関西の電力会社で働く予定です。今回は私の高校生活や大学生活を振り返り、現在勉学に励んでいる関高校生、今後関高校に進学したいと考えている学生に伝えたいことをまとめました。少しでも将来のために頑張っている皆さんのモチベーションになったら嬉しいです。

◎私の教訓

まず、私の経験から、皆さんに伝えたいことは以下の三つです。

- ・高い目標を持ち続けること
- ・やりたいことは全部やること（我慢しない）
- ・行動に繋がりをもたせること

なぜ、これらを伝えたいのか、詳細を話していきます。

① 高い目標を持ち続けること（大学受験の経験より）

私は高校時代、京都大学への進学を希望していました。高い目標ではありましたが、部活動には入らず、我武者羅に勉強しました。自分の学力では厳しいことは感じていましたが、高校三年間、目標は変えませんでした。

目標の立て方は二通りあると思います。一つは小さな目標（達成できそうな目標）を立て、達成したら、もう少しレベルを上げた小さな目標をまた立てる、これを繰り返していく方法。もう一つは大きな目標（達成が難しそうな目標）を立て、その目標のために頑張る方法です。どちらの方法が良いかは、その場面や個人によって異なると思いますが、受験勉強においては後者が適していると感じます。私の場合、勉強が辛くなっても志望大学へ通う自分をイメージすれば、モチベーションを保ち勉強し続けることができました。

結果的に、私はセンター試験で失敗し、直前で神戸大学に切り替えました。神戸大学の赤本はセンター後に始めましたが、京都大学という高い目標を持って勉強をしていたため、神戸大学の二次試験を苦勞せず解くことができました。この大学受験の経験から、高い目標を持ち続けることは重要だと感じています。

② やりたいことは全部やること（高校卒業後、大学生活の経験より）

高校時代は勉強に我武者羅でたくさん我慢をしました。受験に我慢はつきものです、しょうがないです。その分、大学生活ではやりたいことを全部やりきりました。バドミントン、カメラ、古着屋でのアルバイト、東北大震災の短期ボランティア、貧困国での NGO ボランティア、ヨーロッパへの長期留学。中高時代から興味があったことは大学生活で我慢せず、全てやりきりました。それらの活動の中で、年齢や考え方の違うたくさんの人の接する機会が増えました。中には、自分の考え方や生き方に影響を与えてくれる人がいました。

やりたいことは全部やる、大学生活でそれを貫いたことで、自分が様々な人や環境に触れ、刺激を受けたことで、人間として成長することができました。高校時代は勉強に追われ時間がないかもしれません。しかし、大学生はとにかく時間がたくさんあり、なんでもできます。その分時間を有効に使うか無駄に使うかは自分次第です。大学生になったら、興味があることはなんでも手を出してみてください。自分が成長できる機会も同時に得られるはずです。

③ 行動につながりをもたせること（大学時代の経験から）

大学生や社会人になると、高校生までは異なり、いつ何をするかを全て自分で選択することができます。たくさんの経験ができます。だからこそ、一つ一つの経験をそれはそれで片付けてしまうとすごくもったいないと思います。ある経験を終えたら、そこで自分は何を考え、どう動いたか、そこでの上手くいったことと、反省点を振り返る時間を大切にしてほしいと思います。

私の場合、フィリピンの NGO 組織でインターンをした際、渡航前に英語の勉強と国の知識をつけていきました。しかし、実際現地へ行くと、英語での翻訳やレポートはうまく書けましたが、英語の聞き取りが難しく、コミュニケーションを取るのに時間がかかりました。

そこでリスニングを怠っていたことに気づき、それを反省として、帰国後から英語のラジオを毎日聞きました。そしてその後、ヨーロッパへの長期留学の機会を得ましたが、フィリピンでのインターンの反省からリスニングを強化していたため、リスニングに困ることはありませんでした。関連性のないと思う出来事でも、前の反省が生きてくることがあります。

PDCA サイクル（PLAN→DO→CHECK→ACTION）を繰り返すことが重要だと感じます。

◎最期に

大学生は時間もお金も余裕ができ、本当に楽しく自由です。自由であるからこそ、自分がどうなっていくかも自分次第です。高校時代は我武者羅に勉強をがんばってください。そして大学生になったら、高校時代にできなかったこと全部やってください。大学生活のイメージができるよう、次に写真を載せました。私の教訓が少しでも、役にたったら幸いです。みなさんが後悔のない、楽しい高校、大学生活を過ごせることを心から祈っています！

サークル、インターン、アルバイト、学部仲間



ベルギー長期留学

